

「あさひばし 子どもの水辺」

石狩川と牛朱別川の合流点周辺に広がる「あさひばし子どもの水辺」は、北海道遺産である「石狩川」や「旭橋」、H14年度の「川の通信簿※」で「相当良い、満足感を味わえる」にあたる4つ星を獲得した「フラワーランド(リベライン旭川パーク)」などがあり、「川と市民のふれあい空間」と呼ぶにふさわしいエリアです。

市民の憩いの場である「常磐公園」には、子どもの水辺の活動拠点である「川のおもしろ館」などのさまざまな施設が集まり、1年を通じて、多くの市民でにぎわいをみせています。

※「川の通信簿」：国土交通省と市民団体が、全国の河川空間の満足度を5段階で評価するアンケート調査。

水辺紹介 GUIDE MAP

川のまち・旭川のシンボル、「旭橋」のほとりに広がる魅力いっぱいの水辺スポットをご紹介します。

1 石狩川

大雪山系の石狩岳に源を発し、上川盆地・石狩平野を経て日本海へ注ぐ大河。流域面積は全国第2位、本流の長さは全国第3位を誇る「北海道の母なる川」です。平成13年に北海道遺産に選定されました。

2 牛朱別川

当麻町と上川町の境にある米飯山を源流とし、当麻町や旭川市永山地区など流れ、石狩川に合流しています。かつては川幅が狭く、よく氾らんしたものの、現在は、永山新川(牛朱別川分水路)の完成により、安全度が高まりました。

3 旭橋

明治25年、現在の位置に土橋が架けられたのに始まり、昭和7年、優美なアーチを描く鋼鉄製の橋が誕生しました。川のまち・旭川のシンボルで、平成16年に北海道遺産に選定されました。

4 牛朱別川管理橋

石狩川と牛朱別川の合流点に架かる歩行者・自転車専用橋です。コミュニティーランドと常磐公園、福祉公園としての整備が進むフラワーランドを結び、水辺をめぐる楽しみを広げています。

5 フラワーランド

(旭橋上流左岸広場/リベライン旭川パーク) 市内で最大の噴水と、色とりどりの花々に包まれた「花と緑の広場」があり、多くの市民に親しまれています。

6 旭橋上流右岸広場

ゲートボール場(2面)とソフトボール場(1面)を備えた、水辺のスポーツ広場です。

7 コミュニティーランド

(旭橋下流左岸広場/リベライン旭川パーク) 全体に色あざやかなカラーブロックが敷きつめられ、旭川夏・冬まつりや花火大会などの大型イベント会場として活用されています。

8 ドリームランド

(旭橋下流右岸広場/リベライン旭川パーク) 全体を「遊びの広場」と位置づけ、子どもたちが楽しく遊べる「水の広場」や「遊戯広場」があります。

9 常磐公園

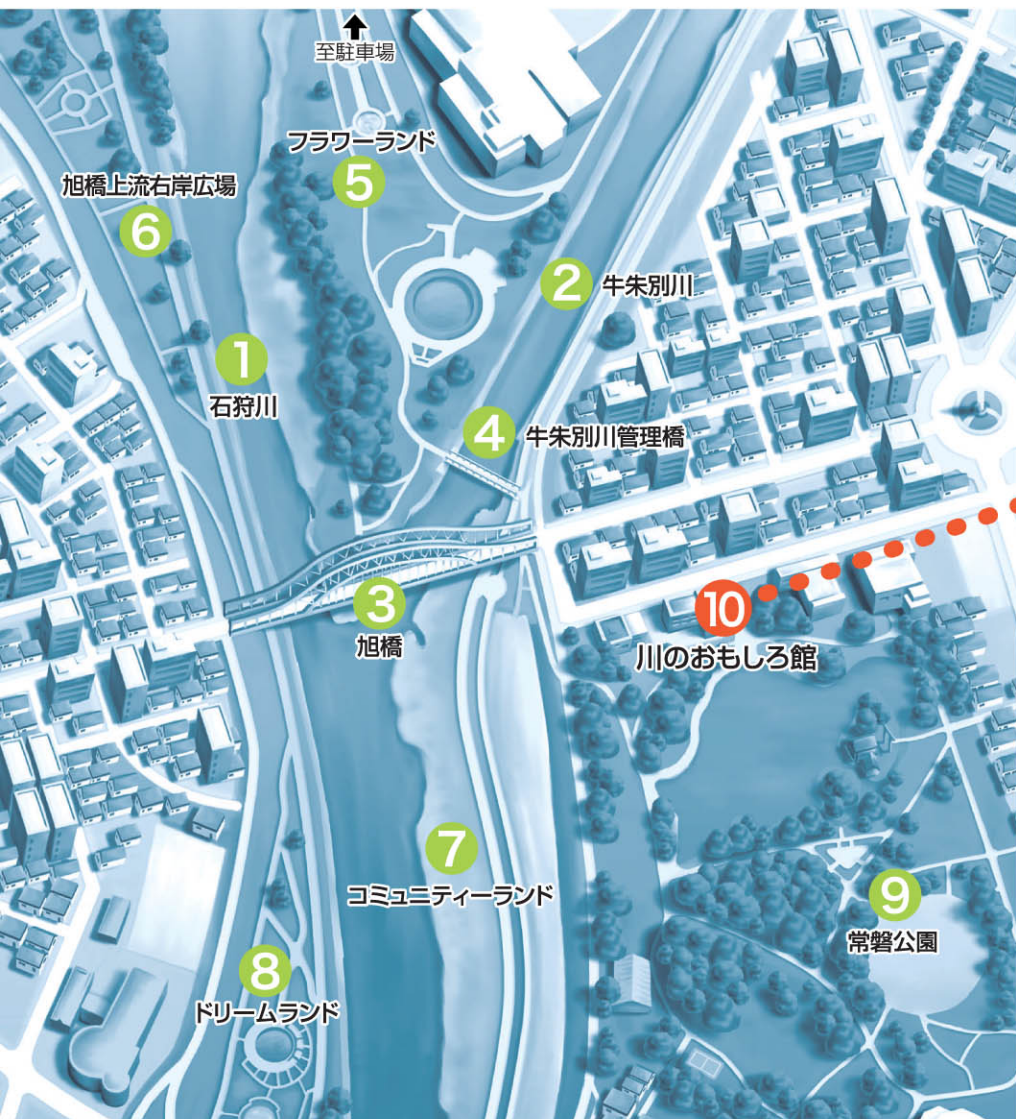
大正5年、旭川市で初めてつくられた公園。自由広場や2つの池、温水プール、軟式テニスコートなどの他、道立旭川美術館や図書館などの文教施設があります。平成元年に「日本の都市公園100選」に選定されました。

10 川のおもしろ館 [石狩川治水学習館]

4つのゾーンに分かれた館内は、川の自然を探検できるネイチャーゾーンやサクラマスの生態を紹介した3Dゾーンなど、体験型の展示が充実。楽しみながら川の知識を学ぶことができます。「あさひばし子どもの水辺」の拠点施設でもあります。

■住所 千070-0044 旭川市常磐公園
 ■電話 0166-24-8430
 ■ホームページ <http://www.terra.dti.ne.jp/~r-land/>

■開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
 ■入館無料
 ■休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



あさひばし子どもの水辺協議会 委員

■北海道教育大学	名誉教授	山形 精治
■旭川市教育委員会 生涯学習部 青少年課	課長	清水 蓮雄
■旭川市立大町小学校	校長	千代 清美

■旭川市立日章小学校	校長	岡部 正
■旭川市立大町小学校	PTA	後藤 美和子
■旭川開発建設部 治水課	課長補佐	羽山 英人
■旭川開発建設部 旭川河川事務所 計画課	課長	桑原 誠
■旭川市土木部 公園みどり課	主査	森 義久

■財団法人 旭川河川環境整備財団	専務理事	富所 博信
■児童クラブ ホロホロ	代表	谷地元 雄一
■旭川春光会	理事長	増子 彰
■旭川中央地区市民委員会	青少年部長	桧原 佑二
■北海道ウォーキング協会(NPO法人旭川歩こう会)	主席指導員	加藤 昭一